

1

「プロローグ」

# 今なぜ節目旅行なのか

観光政策研究部

主任研究員

牧野 博明

## 本特集の背景と目的

観光庁の発表データによると、ここ数年急伸する訪日外国人観光客数に比べ、日本人の旅行者数は国内旅行、海外旅行とも伸び悩み状態が続いている。その理由として、可処分所得などの経済的要因（旅行に費やすお金がな

い、など）や休暇取得などの社会的要因（休みが取れない、時間がない、など）、価値観の多様化（旅行以外に楽しむことがある）といったさまざまな制約や意識の変化などが旅行意欲の低下につながっているものと推察される。このような現況を認識した上で、効果的な旅行需要喚起策を考えていかなければならない。

日本人の場合、旅行を誘発させるカギの1つとして、旅行を行うための「大義名分」があると考えられる。人々の

移動に制限があり旅行が大衆化されていなかった時代においては、「お蔭参り（お伊勢参り）」に代表されるように、参詣などの大義名分のもと旅行を行っていた。現代においても、このような大義名分が、旅行動機を高めるきっかけになるのではないだろうか。

大義名分の一つとして、人生の「節目」が挙げられる。誕生日や就学・卒業、就職・退職・転職、結婚などの人生の転換期に当たる節目は、基本的に誰もが経験できるものであり、またその人の人生において特別感を得やすいものであると言える。このような節目は、普段あまり旅行をしない人でも旅行に参加するきっかけになると思われるため、これらを旅行需要に結びつけることができれば、日本人の旅行需要の拡大につながることも、地域（観光地）にとっても活性化につながる事が期

待される。地域の立場で見ると、昨今は特に訪日外国人観光客が注目されがちであるが、訪日外国人観光客の消費額が約3・7兆円（平成28年、観光庁発表）であるのに対し、日本人国内宿泊旅行の消費額は約16・0兆円（同）であり、国内旅行の重要度は極めて高いと言える。このため、地域は国内旅行の促進にも目を向けるべきであろう。節目をその手段（政策）の一つと捉え、活用できれば、新規需要の獲得だけでなく節目ごとに訪れるようなりピーター化にもつながる可能性が出てくるのではないかと。

そこで本特集では、今後の節目旅行の可能性について考察することを目的とする。「特集2座談会」では、節目旅行の意義や役割などについて、過去から現在までの節目旅行の流れを俯瞰するとともに、今後の節目旅行のあり方

や地域・観光産業へ及ぼす影響などについて示唆を得る。次に「特集3市場調査」では、消費者を対象とするアンケート調査を行い、節目旅行の経験や今後の節目旅行の実施意向などを把握する。そして「特集4事例」では、節目旅行需要を取り込み新規需要開拓やリピーター獲得などに取り組んでいる代表的な事例（三重県鳥羽市、島根県出雲地方、四国遍路、沖縄県）について現地ヒアリングを行い、取り組み方法や特徴などを整理する。そして「特集5視座」では、特集2と4をもとに、今後地域が節目旅行の誘客に取り組む上での留意点などについて提示する。

（まさの ひろあき）

## 本特集で取り上げる「節目旅行」の範囲

本特集では、節目旅行を『人生に節目をつけるために行う旅行』と範囲設定をした。そもそも、人生にはいろいろな節目があり、広義で捉えるとその際に行う旅行全てが節目旅行となってしまうが、本特集で取り上げる「節目旅行」の範囲は、特に本人の自発性(自分のために行うもの)を考慮した。具体例は図の通りである。

図 本特集において対象とする節目旅行の例

### 成長などの区切りに行く旅行

成長や長寿を祝う区切りに行く旅行



誕生日      還暦      成人



七五三      厄年

具体的な旅行例

- 誕生日記念旅行 など



### ライフステージが変化する際に行く旅行

これまでの生活から新たな生活に変化するタイミングで行う旅行



入学      卒業      就職      転職



失恋      結婚      出産      離婚      退職

具体的な旅行例

- 就学記念旅行
- 卒業旅行
- 転職旅行
- 退職慰労旅行
- 新婚旅行
- 結婚記念日旅行
- 恋愛祈願旅行
- 恋人との記念日旅行
- 失恋旅行 など



主な旅行タイプ	イメージ
誕生日記念旅行	主に毎年の誕生日や、成人、厄年、還暦、古希、喜寿、傘寿、米寿、卒寿、白寿などを機に行う旅行。健康や長生きを祈念する意味合いが強い。
卒業旅行	卒業を機に行う旅行。主に卒業から就職に至るまでの間に行われる。学業に勤しんだ自分へのご褒美や、友人・仲間との思い出づくりとして行われることが多い。
転職旅行	転職を機に行う旅行。前職に勤しんだ自分へのご褒美・慰労や、新たな環境への気持ちの転換などが意識される。
退職慰労旅行	退職を機に行う旅行。永年の勤務をねぎらうことを目的に行い、仕事に関わった年月を回顧するとともに、新たな人生への門出を祝う。
新婚旅行	結婚を機に行う旅行。新たな人生を伴侶とともに歩む上での決意や責任感を意識するとともに、伴侶との幸せな時間を2人きりで共有できる貴重な時間となる。近年は、海外挙式に同行する形で家族旅行(親族を含む)を行うケースも見られる。
結婚記念日旅行	毎年の結婚記念日や、銀婚、真珠婚、金婚などの記念となる年に行う旅行。夫婦愛や家族愛を再認識する。
恋愛祈願旅行	恋人や将来の結婚相手に巡り会うことを願って行う旅行。恋愛成就の社寺を訪れることが多い。